

校長だより 6・7月号

『安心安全への備えとして』

充実した1学期が終了し、夏休みを迎えました。

新入生を迎えるとともに新たなクラスとなり、不安と期待でスタートした1学期。児童生徒の適応力は高く、日を追うごとに個々の役割を自分らしく遂行し、また学習活動に目を輝かせて取り組んでいる姿を多くの場面でも見ることができました。個々の成長を感じとった1学期でもあります。

この間、多様な災害や事故等が報道されました。学校では、その都度学校安全について検討・訓練等を行ってきています。



- ・登下校の安全に係る事案は、保護者の皆様にメール配信をすると共に、必要に応じて学校周辺で職員の見守りをおこなっています。スクールバス運行会社とやり取りを密にし、安全運行と緊急時の対応を継続的に確認しています。

- ・教育委員会と警察にスクールバスポイントの情報提供を行い、警察による定期巡回の依頼をしています。

- ・不審者侵入への備えとして、鶴見警察署の指導の下、初動から確保までの訓練を実施しています（7月23日発信のツイッター参照）。

- ・鶴見消防署の指導の下、地震災害等を想定した避難訓練を実施しております。また、緊急時に備え、救命蘇生訓練（AED操作も含む）を全職員必修として5回行っております。

- ・〔2学期〕災害時における児童生徒の引取の訓練を実施します。

- ・〔2学期〕大災害を想定し、避難所で過ごす体験として、今年度も9月20日に防災キャンプを実施します。（昨年度、この「共助としての取り組み」が、教育委員会表彰を受けています。今年度も、ぜひご参加いただければと思います。）

- ・〔2学期〕学校の教育課程として、高等部1年生の宿泊学習を今年度から校内に切り替え、いざというときに校内で円滑に過ごせることをねらい、校内宿泊体験を実施します。

夏期休業中に、学校は少しでも安全快適な生活を目指し、トイレの改修、屋根の修繕、耐震工事等に着手します。また、お知らせしたとおり、学校直近の通学路の変更として、7月30日（火）の保護者及び地域との校内環境整備も含め、進めていきます。なお、2学期始業式から当面、職員が丁寧に誘導をしていきます。

終業式で児童生徒には、夏休みの過ごし方として、交通事故、熱中症、水辺での事故等に注意すると共に、家でのお手伝いも含め新たなことにチャレンジするよう伝えていきます。ご家庭でも、ご指導とご支援をお願いします。

また、神奈川県では、**ともに生きる**社会を推進しています。地域で実施されるイベントやお祭り等に大いに参加していただき、貴重な経験になることにも期待しております。

保護者、地域の皆さんと共にチーム鶴見として、鶴見養護学校は発展していきます。

校長 井出 和夫